

# 2023 年度 事業報告

社会福祉法人 晴誉会

## 1、総論

社会福祉法人晴誉会の掲げる理念のもと、以下の各項目において方針に則った保育・教育活動、施設運営の実現を目的として、下記のとおり事業を実施した。

## 2、2023 年度の動向

### <法人体制>

2023 年度は、2 施設の安定運営を目的とした法人事業活動を行った。

### <地域の保育概況>

2023 年度は茨木市北部域（山手台・彩都の地域）においては、待機児童数が就学前の全年齢で減少しており、あまり福祉ニーズは見込まれなかった。

### <運営>

茨木市の抱える待機児童を解消するため、両施設ともに 1 号枠を開放した。

### <事業>

両園共に継続して両施設ともに緊急一時預り保育（地域子育て支援事業）を実施している。

### <人材育成/人材確保>

- ・ チーフ層の育成の充実は、依然として大きな課題である。
- ・ コロナ禍以来となる対面でのチューター研修を実施した。
- ・ 懸案事項
  - 2023 年度は山手台保育園で 1 名、彩都保育園で 4 名の離職者がでている。
  - 両園ともに、職員のライフステージによる退職・離職が懸案される。

## 3、施設運営・法人運営

### <法人>

- ・ 法人全体の運営状況としては、当初の想定通りの推移となった。
- ・ 経営状況としては、見込みに対してやや減少の推移となったため、マイナスの決算となっている。

### <山手台保育園>

- ・ 園舎は建築 45 年を迎えており、基礎部分での老朽化した設備・備品に関しては、今後の計画的な再購入・再整備が必要となっている。
- ・ 地域の保育ニーズとしては、年間を通じて低いニーズとなった。園児数は減少している。
- ・ 配慮を要する児童の割合が非常に高くなっている。
- ・ 保育時間に関しては、前年に継続してフルタイムの利用者が多い結果となった。

### <彩都保育園>

- ・ 園舎は建築 18 年を迎え、園舎や基礎部分での老朽化した設備・備品に関しては、今後の計画的な再購入・再整備が必要となっている。
- ・ 地域の保育ニーズとしては、年間を通じて標準的なニーズが感じられた。
- ・ 配慮を要する児童の割合が非常に高くなっている。
- ・ 職員のライフサイクルが結婚・産育休の多い時期に入っている。

#### 4、事業報告

##### <総論>

当法人においては保育サービスの維持を念頭に、前年と同内容の保育に努めた。

#### 5、その他

特になし。

以上